

Shito Angelus Aurora

愚者の章

5

使徒……？

まずは
話せる状態
にしよう

痛っ！

!?





そんなこと
できるものが
いるなんて
簡単に信じら
れるわけ…



二ツ

君だって
似たような存在を
信じているのだろう…?



…ってことは
俺の話を信じてる
ってこと!?

人魚はいるんだ
って!

…そうだ

そのために
ここまで来た
君の…



第五節

「本心」を
聞くために…



さっきの風の様なものは何だったんだ？

ガッ

軽い津波も来たな
発掘所の奴らは大丈夫か？

ガッ

もし発掘所に何かあったらまた昔の生活に逆戻りよ…

ブービー

いやだわぁ
開拓民がどうにかしてくれるかしら…

誰もカイのことを心配する人はいないの…？

ザカナ村長…！

よっしゃ！

こうなりや俺が
非番の仲間を
引きつれて
行って…

待ちなさい



俺の…本心…？

君の話聞いて気にかかる事があった。
君が海で見た
正体不明のもの…

それが？

確かに俺が見たのは人間っぽい
体と魚の尾びれがくっついたやつだ？
それが人魚だろ？

それを

「人魚」
と呼んだことだ

!!

君が「人魚」を見つけたのは…

スッ

これだろう

「人魚」という固有名詞を勝手に作って呼ぶのは不便で不自然だ

つまり君はどこかで「人魚」という言葉とその意味を知ったことになる…

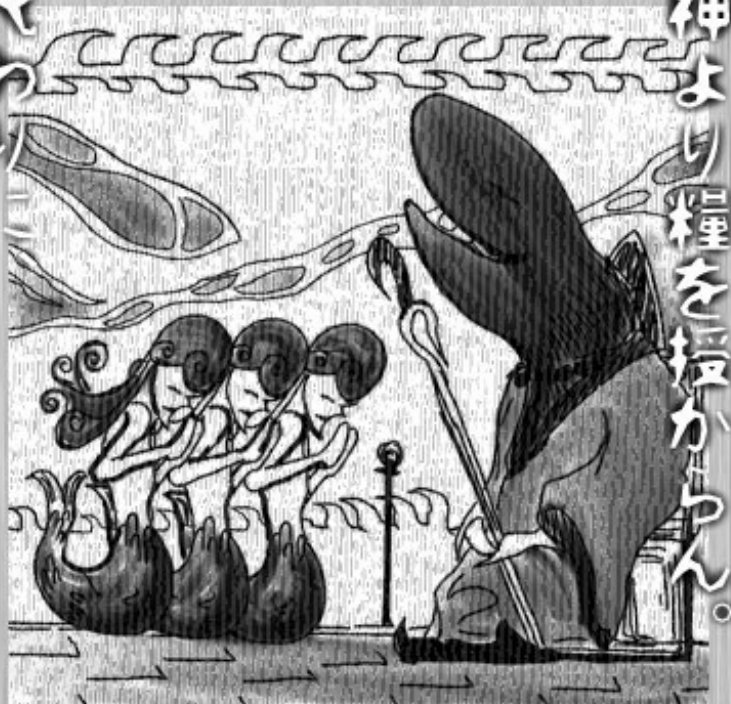
普通なら今までこの村で誰ひとり「それ」を見た者はいないのだから

それは…

これは
村長の住まいに
あった、
村の「歴史書」だ。

その第一巻…
つまり村が
興った時期の
歴史が記されて
いる。…中にこんな
記述がある…

空高き所に、空の神あり。
海深き所に、海の神あり。
我ら地上の喰人は、
神より糧を授かるん。
代わり、
地上の糧、神に供えん。
地上の糧、
それ我ら喰人なり…



この記述が
示しているのは
かつてこの村では
ある「儀式」が
行われていた

この土地に
住む神に
豊饒を願ひ、
生きた人間を
供えた。
つまり…



いけにえ
「生贄」だ

地上の喰人、地上の糧、海に放ち、

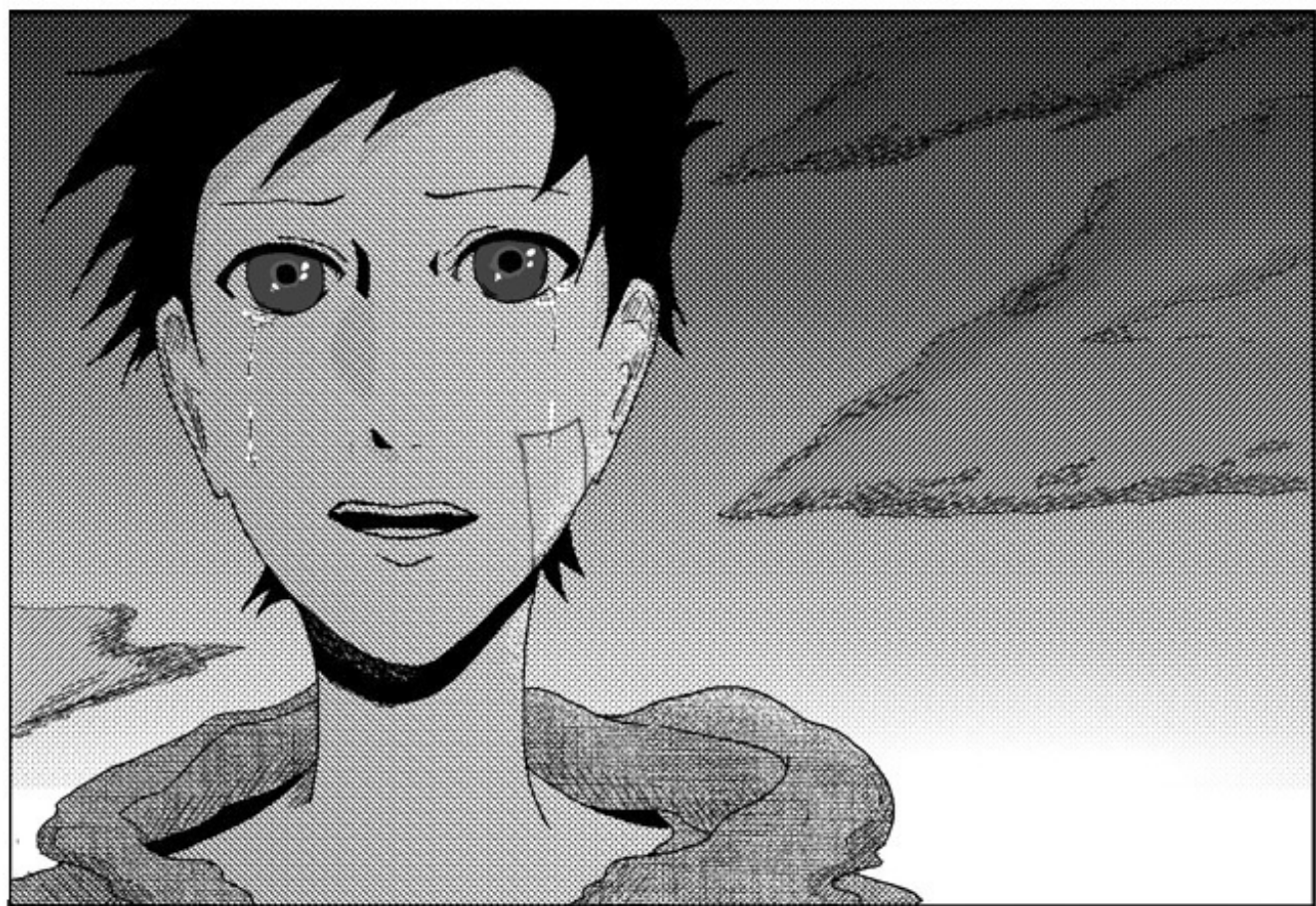
海の神、海の使いを、迎えに遣わす。

その使い、喰人を模した海のものなり。

それ、人魚という。

にんぎょ

…更に続きを読んでみよう





きっかけはやはり
両親の死
だったのだろう

シーナから
聞いた^{なまから}の
両親の亡骸は
上がらなかつた
と……



そういう話は
海に生きる者に
とっては珍しい
ことではないが

この歴史書を見、
この「悪習」や「人魚」
のことを知った君は
こう思ったのではないか？



両親は海の神の
生贄となったので
はないかと



そして決定的な機会が訪れる

人魚が姿を
現すのは
生贄を迎えに
来る時

だが、
人魚の方から現れると
いうイレギュラーな
出来事に海の神の
怒りだと思った君は

一刻も早く
海の神の怒りを
鎮めなければ大変
なことになると
考えた…

そこで君が考えた
最善の方法は、
自らが生贄となり、
村のために死ぬこと
だった

既に両親は
生贄になったと思い
込んでいた君は、

両親に会えるかも
しれない という
期待もあった

だからわざと
村人達の気に障る行動
を取ったんだろう？

村人の怒りを買う、
己を生贄にさせる
ためにわざと…

それが、
君の計画だった

だが…

村人の反応は予想と違った—

カイ：
どうしたんじゃ？

歴史書？

村長の家にある
歴史書を見たんだ

村長

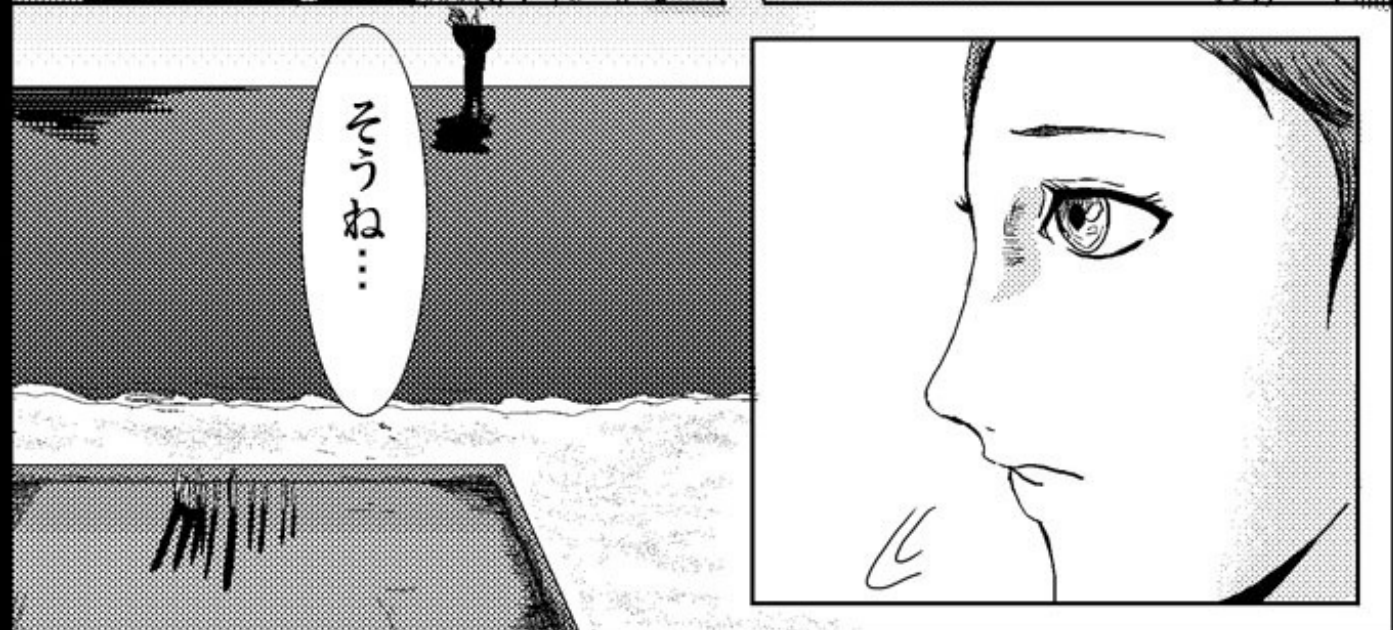


馬鹿なこと
を言うで
ない!!!

人魚の方から海に来るな
んて異常なんだ。
きつと開拓民の建てたあ
れのせいだ。
だから早く海の神の怒り
を鎮めないとい……

……俺なら誰も身寄
りがいないし……
それに父さんと母
さんもしかした
ら……





…人とは
愚かなものだ

ゴシゴシ

命が最も崇高だと知って
いるがゆえに、それを神に
差し出すことをいとわ
ない

そしてその神でさえ、
人間自身が一方的に解釈
したものに過ぎない
私からしてみれば、
この儀式は悪習だ

少年はようやく
気付き始めたようだ
何が大切で
どこに目をむける
べきなのかを――

誤まった彼らの解釈は
時を経てなお

一人の少年の命を
奪おうとしている…

だが…





だが今はやはり
人魚の方が
重要なんだけど
ね

なんだ
それだ



何だよ



そうだ



君に姿を見せたのは
偶然じゃない
君の純粋な心に好意
を寄せているのだろう
：

となると
共にいたほうが
いいな…



すまないが、
今度は私の用
につきあってくれ



そういえば…



あんたが
ここにきた
目的って…





